

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	千里丘寮跡地開発	階数	地上2階
建設地	大阪府吹田市市長野西2022番	構造	S造
用途地域	1種住居、法22条	平均居住人員	150人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2017年5月18日
敷地面積	3,627㎡	作成者	松本拓也
建築面積	2,176㎡	確認日	2017年5月19日
延床面積	2,440㎡	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.2</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100% (0 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み 63% (132 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>③上記+②以外の 63% (132 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>④上記+ 63% (132 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.0</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.5</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 4.1</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.0</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> LED照明の採用等、設備システムの高効率化に努め、省エネルギー性能の向上に努めている。 	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 内装材には、F☆☆☆☆又は規制対象外建材を使用し、空気質環境に配慮。 建築物衛生法を満たす換気量の、1.4倍を確保している。 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> 高い天井高の確保。・事前の内装計画を行う。 建物の維持管理に配慮。・耐用年数の長い部品部材を採用。 高い耐震クラスを確保している。・壁長さ比率を確保し、空間のゆとりを配慮する。 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑地、高木を設けている。 ネットフェンスの設置で、防犯性に配慮。
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> LED照明等の、高効率設備機器を採用している。 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> LGS下地の採用等、建物のリサイクル性に配慮している。 防水工事のプライマーの採用等、科学物質の使用削減に努めている。 発泡材を用いた断熱材を採用せず、フロン等の回避に努めている。 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> LCCO₂排出率は63%と、地球温暖化に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0020

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】		建物名称	千里丘寮跡地開発					
		建設地	大阪府吹田市長野西2022番					
		用途/区分	物販店					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.4	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	3.0	4	
					住戸・宿泊			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.7		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.0		
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								